

「戦争法案を廃案に！」超党派の女性議員・元議員で記者会見

6月22日「戦争法案に反対する女性議員・元女性議員の会」で、声明を発表

6月22日、県下・5名の女性議員・元女性議員が発起人となって、超党派の「戦争法案に反対する女性議員・元女性議員の会」をつくり、戦争法案の廃案に向けて、共同して取り組んでいくことを決め、記者会見を行いました。

24人の現職・元職の女性議員が賛同して名前を連ねています。

日本共産党は、益田牧子元熊本市議はじめ12人が賛同しています。

(6月23日現在)

【発起人】(五十音順)

岩田智子(熊本県議会議員)
上野美恵子(熊本市議会議員)
中島絹子(元熊本県議会議員)
東すみよ(元熊本市議会議員)
平野みどり(元熊本県議会議員)

街頭でのアピールを行います

日時:7月1日(水)午後4時

場所:下通り入口

*どなたでもご参加できます。
ご一緒にどうぞ!

声明文

安倍政権は今国会で、日本を海外で戦争する国に変える戦争法案を押し通そうとしています。国会論戦からは、憲法にも国際法にも反する恐るべき危険性ばかりが伺えます。衆院憲法審議会に招かれた憲法学者は、自民党、公明党、次世代の党が推薦した学者も含め3人全員が、集団的自衛権行使については、「憲法違反」との認識を表明しています。いかに無茶な法案であるかが白日の下にさらされました。この法案は立憲主義を否定するものであり到底許されるものではありません。私たち女性は、今そして次世代を生きる若者の命が、戦火で断たれる世の中に逆戻りさせてはならないと強く訴えます。つい70年前に起きた悲劇、あるいは今日もどこかで理不尽な暴力にさらされている人々の声なき声に、しっかりと耳を澄まさなければなりません。日本の自衛隊が武器を持ち海外に出ていくような蛮行はなんとしても止めなければなりません。

政府と与党は国会会期末を24日に控え、きょうにも国会を大幅に延長して戦争法案を強行しようとしています。憲法違反の悪法を押し通す会期延長に強く抗議します。

「戦争はいや! 平和をねがう!」、「でも、何をすればいいのかわからない!」、その様な不安のなかで、日々暮らしている女性たちはたくさんいます。子どもや家族の将来が少しでも幸せであるようにと切に願う女性たちと戦争法案が廃案になる日まで連帯します。

平和を希求する女性のみなさん、今こそ手をつなぎましょう!



(熊本県庁記者クラブにて)



(控え室から)
はじめての一般質問を終えて

やまべひろし



6月24日、初めての一般質問をいたしました。市議会会議で、「山部さん、一般質問どうしましたか?」と聞かれたときは、まさか、と思いましたが、聞けば当選後、最初の議会の一般質問は、新人議員の登壇門とのこと。だったらどうせ、いつかはしなければならぬのだから、と引き受けました。

しかし、いざ始めてみると、それは想像を絶する大変さでした。知識的にも実践的にも蓄積のない私にとって、質問項目のすべてが、全くゼロからの学習です。関係書物を読みあさり、なんとか形ばかりの質問を書きあげました。団会議の中で検討していると、知らなかったこともたくさん発見し、勉強はこれからだと思いました。

ともあれ、集団で論議し、中身を練って、無事終わることができましたが、振り返れば、現場の声を聞くこと、これが本当に大切なだと再確認しました。本で得た知識だけでは、質問の説得力が違います。

これからは、「書を持って、街へ出よ」を実践していきたいと思えます。

日本共産党 市議会だより

発行: 日本共産党熊本市議団

上野みえこ なすまどか 山部洋史

熊本市中央区手取本町1-1 議会棟

NO. 953

2015年6月28日号

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール: kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

ホーム: http://www.jcp-kumamoto.com/

侵略戦争を美化する教科書を子どもたちに渡せません！

採択に現場の声を反映させるために、「教科書展示会」で意見を提出しましょう

侵略戦争美化の教科書採択は、「戦争法案」推進の動きと一体

今年は、4年に一度の中学校教科書採択の年です。特に今回は、安倍政権が強行にすすめる「戦争法案」成立の動きと一体となっているところに、大きな危険があります。「戦争をする国」を支える教育を担う教科書を子どもたちに手渡さないことが極めて重要です。

<「育鵬社」「自由社」の教科書の問題点>

●歴史教科書は日本の侵略戦争を「自存自衛」「アジア解放」のためと描き、「日本の戦争は正しかった」という主張を貫いている

日本の戦争が誤った侵略だったという判定は、戦後の国際秩序の原点です。日本政府は1982年の宮沢喜一官房長官談話で過去の戦争への反省が「学校教育、教科書の検定にあたって、当然、尊重されるべきもの」と表明し、検定基準を改定しました。宮沢談話の立場は今も変わらないことが国会で確認されています。両社の教科書は日本政府の公式の立場にも反し、世界で通用しない認識を子どもたちに植えつけるものです。

●公民教科書も、戦争への反省がみられない

他社の教科書は憲法の平和主義の説明で、戦争への反省から戦争の放棄などが定められことを明記しています。育鵬社の教科書は、戦争放棄などを連合国軍に押し付けられたもので「世界的には異例」と否定的に描き、「平和主義」の項目の大半を自衛隊の説明に割く異常なものです。

文科省は教科書採択では教員の意見を尊重し保護者・住民の意見をきちんとふまえることが必要だとし、改定地方教育行政法の下でも首長には採択の権限はないと明言しています。自民党などの介入を許さず、子どもたちに最適な教科書を選ぶことを求める運動を広げることがいっそう大切になっています。

「教科書展示会」開催中！ 7月2日まで

(会場)	(時間)	(住所・TEL)
熊本市教育センター	9:00～19:00 (土・日を除く)	中央区千葉城町2-35 TEL 359-3200
熊大教育学部附属小	10:00～17:00 (土・日を除く)	中央区京町本丁5-12 TEL 356-2492
県立熊本ろう学校	10:00～16:55 (土・日を除く)	東区東町3-14-2 TEL 368-2135
県立図書館	9:00～19:00 (平日) 9:30～17:15 (土日) (13日と30日は休館日)	中央区出水2-5-1 TEL 384-5000
幸田公民館	9:00～20:00 (月曜は休館日)	南区幸田2-4-1 TEL 379-0211
西部公民館	9:00～20:00 (月曜は休館日)	西区小島2-7-1 TEL 329-7205
龍田公民館	9:00～20:00 (月曜は休館日)	北区龍田弓削1-1-10 TEL 339-3322
植木公民館	8:30～20:00 (月曜は休館日)	北区植木町岩野238-1 TEL 272-6906
火の君文化センター	9:00～20:00 (月曜は休館日)	南区城南町舞原394-1 TEL 0964-28-1800

*会場で意見を提出できます。どなたでも、意見を提出できます。展示してある教科書を手にとって見比べ、問題点や歴史の事実に基づいた教科書採択が必要であることを述べましょう。